

山口県警察における速度管理指針

速度管理指針の必要性

この指針は、最高速度違反取締り等の街頭活動、道路管理者と連携した安全な道路交通環境の整備等による路線全体の速度抑制対策を推進する上での考え方を県民の皆様と共有するため取りまとめたものです。

山口県の交通事故情勢

【交通事故の発生状況】

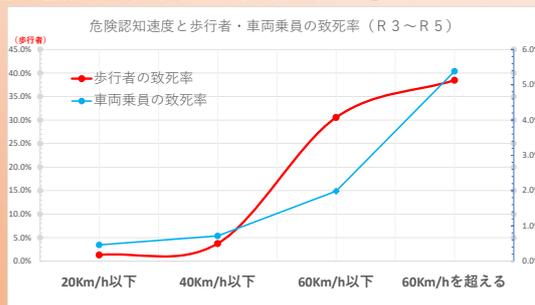
区分	人身事故発生件数	死者数	負傷者数		
			重傷	軽傷	合計
令和5年	2,269	35	396	2,303	2,699
令和4年	2,261	31	380	2,253	2,633
増減数	8	4	16	50	66
増減率	0.4%	12.9%	4.2%	2.2%	2.5%

○ 発生件数、死者数、負傷者数いずれも増加

【速度超過が原因となった事故の致死率※1】（令和5年中）

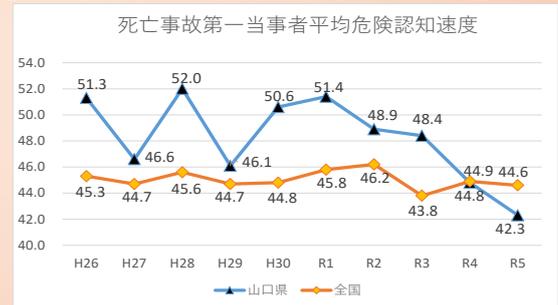


【危険認知速度※2と歩行者・車両乗員の致死率】（令和3年～令和5年）



○ 速度が40km/hを超えると歩行者の致死率は急激に上昇

【死亡事故第一当事者平均危険認知速度】



○ 山口県の危険認知速度は前年に続き全国平均を下回る

※1 人身事故の致死率＝死者数÷死傷者数

※2 車両の運転者が事故の相手方を発見し、ブレーキやハンドル操作などの回避措置を執る直前の速度

速度管理の概要

総合的な速度管理

- 適切な最高速度規制の実施
- 交通安全教育、啓発活動の推進
- 交通事故抑止に資する速度取締り
- 安全・安心な道路交通環境の整備

幹線道路	市街地道路	生活道路
<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用実態や道路環境を踏まえた適切な速度規制 ○ 取締り重点路線を中心とした速度違反取締りの実施 ○ 白バイ・パトカーの警戒活動による遵法意識の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 速度規制標識等の明確化による速度抑制 ○ 事故発生実態等に基づく速度取締りの実施 ○ 重点的な警戒活動による速度抑制と規制遵守 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゾーン30プラスの推進や道路整備等による速度抑制 ○ 可搬式速度違反自動取締装置による速度取締りの実施 ○ ボランティア等との見守り活動を通じた速度抑制